

セーナー苑だより

薬師岳

No. 200
〈2020・春〉

新年度を迎え 1

退任者の挨拶 2
3

新任者の挨拶 4
5

◆特集◆
新年度に向けて 6
7

家族の広場 8

行事アラカルト 9
10
11

インフォメーション 12



新年度を迎え

4月10日の緊急事態宣言を受け、本日4月13日知事から、外出自粛要請が出ました。知事の会見で、一人ひとりが、自身や家族ら他の人の感染を避ける行動に努めることが「最も重要で効果のある対策になる」と訴えられました。当苑においても感染症に対して具体的な対応の流れを検討中です。職員が持ち込まない・持ち出さないを基本に、感染リスクの意識を高め苑内の連携体制を強化し、この感染症の克服に向けての対策を推進しています。

さて、当苑では、利用者の高齢化や重度化等の課題に対応するため、利用者本位の視点に立ち、職員が一体となって、利用者一人ひとりに合ったきめ細やかな支援に努めていきます。高齢化対策については、引き続き「職員の高齢者支援の知識や技術の向上」「高齢化に対応した施設整備」「医療との連携強化」等に積極的に取り組んでいくこととしています。重度化への対応については、職員の強度行動障害に関する知識や技術の向上を図るとともに、利用者支援の実践的な取り組みを進めていきます。利用者の日中活動については、ニーズに対応した支援を行うとともに、日頃の健康づくりを進めていきます。また、一昨年から利用者の課題解決のため、職員と組織の支援力向上を図り、現場において一貫した対応ができるチームづくり「支援力向上委員会」を立ち上げ進めており、今年度も継続していきます。

4月1日より、荒見信一苑長が着任されました。異動辞令交付式で利用者の高齢化や重度化に的確に対応できるよう、人材への投資にも取り組んでいこうとの訓示を受け、引き続き、苑事業を進めてまいります。

副苑長 土居 恵利子

退任者の挨拶

6年間ありがとうございました

(前)苑長 上田 隆 司



あつという間に過ぎ去った感じがしますが、多くの「出合い」がありました。

まずは利用者さんとの出合い。初対面の私に対し、明るく話しかけてくれた人が何人もいました。初めて経験することが多い中、彼らとの会話で随分緊張がほぐれたことが昨日のことのように思い出されます。その後、いろいろな出来事を通して、利用者さんとの多くの出合いがありました。楽しいこともありましたが、立场上、課題を持った利用者さんのことで職員の皆さんと頭を悩ませたことも随分ありました。最初は知識も経験もないため悩むことすらできませんでしたが、必要に迫られ勉強を重ねることによって多少の知識を積むことができ、利用者さんに関する理解も少しずつ進んだのではないかと思っています。いつの頃からか、朝と夕、日々の記録で利用者さんの状態を確認し、大きなトラブルがないことで胸をなでおろすことが日課となりました。

そして職員の皆さんとの出合い。多くの職員の皆さんと最初に交わした会話は、直接仕事とは関係ないことの方が多かったような気がします。大沢野駅伝や各地のマラソン大会、苑内での花づくりなど、リラックステア場面で会話し、顔を覚えてもらい、覚えられたことが結果的には良かったと思っています。

最後になりますが、保護者会の皆さんをはじめ多くの皆さんに助けていただきました。本当にありがとうございました。

前・上田苑長におかれましては、平成26年4月より苑長として当苑の運営にご尽力をいただいていたところですが、このたび、苑長職をご退任されることになりました。

この間、当苑の50周年に伴う記念式典や関連事業にご尽力いただくとともに、高齢化や重度化にも対応すべく陣頭指揮をとっていただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後は、当法人の理事長として、引き続き運営に参画していただくこととなりました。当苑にあつては多くの課題を抱えており、さらには新型コロナウイルススへの対応を求められており、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

笑顔に囲まれて

(前)ほほえみの丘施設長 谷 正美



41年前の春、桜の咲く中、胸を膨らませてセーナー苑に就職しました。その頃は利用者さんも大変若く元気に走り回っておられました。毎日、猿倉山の近くまで散歩に出かけ、夏はプールで水遊び、雪が降るとソリを持って滑りに行きました。ハイキングやキャンプ、運動会、スキー大会や雪祭りなど、四季折々の行事がたくさんありました。いつもみんな笑っていました。思い出はたくさんあります。時が過ぎ、体力的に衰えてはきましたが、今もあの頃の気持ちを忘れないようにしています。利用者さんや保護者、職員の皆さんには支えてもらって感謝しかありません。笑顔で退職の日を迎えられたことを幸せに思います。これからも笑顔のあふれるセーナー苑でありますようお願いいたします。本当にありがとうございました。

ありがとうございました

(前)のぞみの丘施設長 山下 早苗



昭和54年4月から、勤めさせていただき、たくさんの方々とのお出合いがあり、皆さんに助けられて勤務できたこと深く感謝しております。

初めての所属が、生活部一課あざみ寮でした。今では、建物もありませんが、緊張しながら、パワフルな女子利用者さんに助けってもらい、先輩職員に教えて頂いた日々を懐かしく思い出します。あれから41年、利用者さんの笑顔に会えるように支援してきたつもりでしたが、反対に励まされ、助けってもらい続けて、一緒に歩んでくることが出来ました。保護者の皆様に支えられ、職員の皆様に支えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は、異例づくめで、大変な年度末を迎えることになりました。利用者の皆さんが何より楽しみにされている来苑日も中止になり、我慢の日々を過ごしておられます。大変なこの時期を、皆さんで一丸となって乗り切ってください。平穏で健やかな日々を送れるよう、陰ながら応援しております。利用者の皆様、保護者の皆様、職員の皆様、長い間本当にありがとうございました。

就労支援に携わって

(前) 地域生活サービス部主幹 石田 稔



セーナー苑開設10周年を迎える昭和52年に就職しました。利用者も職員も皆若く活気溢れる施設の中で日々刺激を受けました。児童部では個性豊かな子供たちの行動に教えられ自分自身が成長させられました。成人施設に異動してからは利用者さんと一緒に楽しむことをモットーに過ごしました。

平成18年、就労支援の業務に就くこととなり、ハローワークに度々通いました。当時、館内はいつも失業者で溢れ、障がい者の求人はないかなかりませんでした。

翌年、就労移行支援事業が開設され、利用者さんに就労に必要な訓練を行うと共に、コミュニケーション能力の向上を目標に様々な仕事を体験しようと一緒に施設外へ実習に向かいました。市場でのみかんのネット詰めや野菜の皮むき、老人施設の掃除、洗車、草刈りなど。利用者さんは、機械を使いこなせるようになると自信を持ち就労への意欲が高まりました。数年して障がい者雇用を推し進める施策が導入されると、求人状況も改善され、就職者も徐々に増加し、40人程が一般就労することが出来ました。退職までの13年を「あおぞら」で働かせて戴き感謝しております。43年間有難うございました。

ありがとうがじゅびじゅびありました

(前) やまびこの丘支援課長 富永 裕美子



昭和54年5月学生として児童部で実習をさせていただきました。毎日がとても楽しく「ぜひここで仕事がしたい」と思い、55年の4月に入職し、もう40年が経ちました。

仕事を通していろいろ体験し、多くの方と出会い、学ばせていただきました。今思い出するのは、暖かな陽ざしの中や暑い中、桜の木の下、手をつないで散歩によく行ったこと、日々のちよっとした出来事で笑ったこと、セーナー苑祭などの行事を楽しんだことなどつきまません。利用者さんの笑顔やぎゅっと握ってもらった手に元気をもらい、保護者の方にかけていた

だいた一言に力をもらいました。また職員のみなさんには、いろいろご指導いただき、助けていただいた。今日までやってこられたと思っております。本当にありがとうございます。今後のみなさまのご健康とご活躍をお祈りいたします。

いつかの場面

(前) 地域総合支援部 上席専門員 石田 紀代美



退職の日が迫ってくると、セーナー苑に勤め始めた頃の、特に児童部でのことがしきりと思い出されます。あの頃の子供たちは、私の「同期のサクラ」です。一緒に学び、育ってきたようにも感じています。楽しかった数々の場面がみんなの幼い笑顔とともによみがえります。

リヤカーにおにぎりや味噌汁をのせて行ったハイキング。リーダーのキヨト君が得意げにリヤカーを引っ張ってくれました。小学生になってもコアラの様に抱っこをせがむイクヨちゃん。今もきつと甘えん坊だと思いつつ、恥ずかしがり屋のエリちゃんは大運動会の行進練習でも片腕で顔を隠していましたね。水遊びの大好きなミユキちゃんは時々苑庭の池の中に入りこぼれるような笑顔で遊んでいました。島尾海岸へ親子キャンプに行き、ヨシマサ君を見失ったあの長く感じた時間と波打ち際を探すお父さんの姿を切なく思い出します。見つかった時の皆の安堵の顔とともにいつまでも忘れられません。そして、今でも私の事を旧姓で読んでくれるエイコさん。嬉しいですね。

「同期のサクラ」の皆さんは、この40年余り、いつも私の支えでした。これからもお互いに元気で頑張りましょうね。





新任者の挨拶



苑長 荒見 信一

このたび、セーナー苑とご縁を結ぶこととなりました。50周年記念誌を読みまして、苑の創設と拡充、日々の運営にご尽力されたご家族、関係機関、先輩諸氏等の願い、御労苦に思いを致し、職責の重大さを身に染みて感じていきます。苑利用者はもとより、障害者一人ひとりの自立と社会参加を目指して、一所懸命務めを果たしていきたいとの一念です。

さて、私は、出生以来高岡市の住人ですが、高岡市は、万葉朗誦の会の開催など、万葉集の普及に力を入れていきます。

立山《たちやま》に 降り置ける雪を 常夏に 見れども飽かず 神からならし

大伴家持 万葉集 卷十七ー四〇〇一

「立山に降り置いた雪は 一年じゅう見ても飽きない その神々しさのゆえであろう」との訳。この歌は、万葉集の越中関連歌をかるた形式にした越中万葉かるた（越中万葉歌）の一首です。娘が小学生の時に、カルタ取り大会のため私も一緒に練習させられたことが、知るきっかけです。加えて、近年習い始めた詩吟では、大きな声で吟ずると、作者の想いを込めた抒情・叙景を躰で味わうことができ、越中万葉歌がより身近なものとなりました。

大伴家持が越中国主であった天平時代には、都・地方で疫病流行、旱魃、飢饉、地震、火山噴火など多くの災厄がありました。大伴家持は、こうした時代背景の中で、越中国の天然・自然や事物、風俗等の状況に接し、五感を震わせ、抒情を込めて歌を詠まれたものではないでしょうか。

私は未熟ですが、天平から令和、悠久の歴史を超えて大伴家持が仰ぎ見ていた立山の神々に祈りを捧げつつ、現下の新型コロナウイルス禍が人類の叡智によって克服され、世界の人々に、そしてセーナー苑に、平穏な日常が戻ることを願い信じ、職員一同と共に、職責を果たしていく覚悟です、宜しく願います。

- 座右の銘 論語
- 好きな映画 ミッション・インポッシブル
- 趣味・特技 読書



管理部 栄養班 栄養士

浅井 和奏

富山福祉短期大学食物栄養学科を卒業しました。食事が毎日の楽しみと日々感じていただけるように、利用者さんの元気な笑顔を仕事のやりがいとして、先輩方から多くのことを学びながら精進していきたいと思っています。

初めての環境で慣れるまで時間がかかるかもしれませんが、連携を大切に丁寧な業務を心がけていきます。よろしく願います。

- 座右の銘 一生懸命
- 好きな映画 あやしい彼女
- 趣味・特技 音楽を聴くこと 歌を歌うこと





ほほえみの丘 支援員

川島 日那

富山短期大学幼児教育学科を卒業し、障害児支援に興味を持ち、短大生活では放課後等デイサービスについて研究しました。

今後は、いつも穏やかに、利用者さんに寄り添った支援ができるような支援員を目指し頑張ります。今はまだ不安でいっぱいですが、まずは一つひとつの業務を丁寧に行いたいと思います。よろしくお願います。

- 座右の銘
初心忘るべからず
- 好きな映画
グリーンマイル
- 趣味・特技
写真
- スキマスイッチ
- 乃木坂46



やまびこの丘 支援員

松田 莉奈

この度、ご縁がありましてこちらの施設に入職させて頂いていただきました。分からないことが多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯努めてまいります。利用者さんが安全に楽しく、自分らしく生活できるように、一つひとつの業務を一日でも早く覚えられるように頑張ります。よろしくお願います。

- 座右の銘
失敗は成功の基
- 好きな映画
あと1センチの恋
- 趣味・特技
音楽鑑賞
映画鑑賞



こだまの丘 支援員

小永井 晴美

学生の頃にセーナー苑で実習させて頂きました。その時に感じた利用者さんの純粋な心、また職員の方の温かく支援する姿にも魅力を感じ、私もここで働きたいと思いを決めました。周りを見てさまざまなお気持ちに気づける職員になりたいと思います。これからよろしくお願います。

- 座右の銘
一生懸命
- 好きな映画
アントマン
- 趣味・特技
相撲観戦
フルートを吹くこと



のぞみの丘 支援員

桜木 紅朋

実習でお世話になったのぞみの丘に配属になりました。私はとても人見知りな性格ですが、利用者さん、職員の皆さんと積極的にコミュニケーションを図り、新人らしく元気に働きたいです。そして一日でも早く利用者さんに寄り添った支援ができるよう、先輩方を見て学んでいきます。よろしくお願います。

- 座右の銘
継続は力なり
- 好きな映画
アラジン
- 趣味・特技
NBA観戦
ピアノ



のぞみの丘 支援員助手

飯田 雅章

3月まで臨時職員として勤務させて頂いたとき、4月より支援員助手として働かせていただくことになりました。

基本的な事からしっかりと学んで、サービスの向上に努めたいと思います。

- 座右の銘
沈黙は金
- 好きな映画
ゴッドファーザー
- 趣味
彫刻
絵画の制作

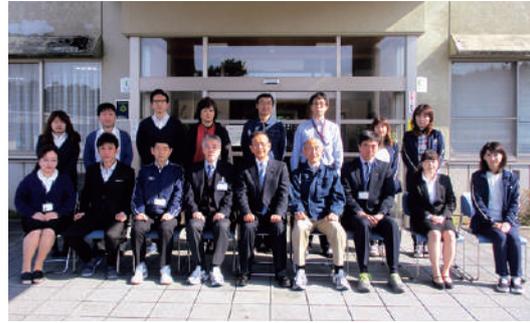


向 け て

総務部と管理部では、苑全体の基本方針の立案や、施設の維持管理、利用者さんの栄養管理などを行っています。

現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により不安な日々が続いておりますが、利用者さんの平穏な生活を守るため、各部署の方々と連携して衛生用品の確保に努めるなど対応に当たっております。

支援に直接関わる機会は少ないですが、縁の下の力持ちとなれるように日々業務に励んでいきたいと思っております。



総務部・管理部

仕事をするにあたり大事なことは、まず健康であることだと思います。普段から身体面はもちろんのこと、心の健康にも配慮し頑張っていきたいと思っております。

また今年度、一部職員が変わりました。職員が変わったことにより、新たな風が部内に入るものと思っています。

今年度も地域総合支援部をよろしくお願いいたします。



地域総合支援部

当丘では比較的年齢の高い利用者さんに対し、心身ともに健康で快適な生活を提供し、生きがいとゆとりのある暮らしが送れるよう支援しています。

これは当たり前のようにですが、加速する高齢化や、感染症にならないための予防をする中で、それらの維持がどれほど重要かつ簡単ではないことかを痛感しているところですが、

咲き誇る桜のように、利用者さん職員ともに健やかに過ごせる一年であるように、取り組んでいきたいと思っております。



ほほえみの丘

今年度は、昨年度末からの世界的な感染症の影響による、日々の生活への制限で、不自由を感じing中で新年度を迎えています。ご家族の方々も不安を感じておられると思います。丘活動においても自粛を余儀なくされておりますが、何より利用者さんの安全と健康に留意し、前年度より掲げている「一人ひとりへのよりよい支援」を継続できるように新たに接遇向上委員会を設け、意識改革に努めてスタッフ一同励んでいきたいと思っております。



やまびこの丘

苑機関紙「薬師岳」には「にこりほっと」が掲載されています。今年度の新たな取り組みとして「にこりほっと…こだまの丘版」を掲示することとなりました。日々の関わりの中で「にこりとしたこと」や「ほっとしたこと」を発表することで、利用者さんの思いがけない一面を知ったり、新たな支援のヒントとなったりするものです。この取り組みを通して、利用者さんと職員が良好な関係を築くことで「満足度アップ」に繋がるものと期待しています。



こだまの丘

新年度に

のぞみの丘



令和2年度は、コロナウイルスが猛威を振るい、4月の来苑日も中止になりましたが、今年も、例年通り桜が咲き美しい桜並木に心も癒され気持ちも新たにしています。それに伴い何気ない日常を過ごしていくことの大切さがよくわかり、感謝の気持ちが湧きます。

令和2年度の「のぞみの丘」は、昨年度に続き利用者さん、職員のたくさん笑顔があふれるように、スタッフ一同頑張っていました。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。

はるかぜの丘



はるかぜの丘では、入所者80名の多くが日中活動の作業を生かしていくように、また趣味的活動等にも意欲的に取り組んでおられます。しかし、徐々に重度化、高齢化の波が押し寄せておりますが、各々のニーズを實現することで、楽しく充実した毎日を過ごしていただくように支援に取り組んでいきます。



わかくさの丘



世界中に感染拡大している新型コロナウイルスが、私たちの近くまでも迫ってきており、今までのない厳戒態勢での新年度がスタートしました。そんな日々でも、いつもと同じようにセーナー苑の桜は満開に咲き誇り、私たちの心を癒してくれました。「日常な日々を送る」ことのありがたさ、大切さを痛感しながら、今、私たちができる備えを精一杯行っています。

利用者さんには、今まで通り安心して穏やかに過ごしていただけるよう、安心感を与えられる「わかくさの丘」でありたいと思います。

地域生活サービス部



地域生活サービス部は、障害福祉サービス事業所「萌芽」、就労支援事業所「あおぞら」、就労継続支援事業所「工房COCO」、グループホーム「ほのか」の四つの事業所を担い、日中活動の場、働く場、住まいの場を提供しています。

地域で暮らす利用者さんの夢や希望に少しでも近づけるように、それぞれの課題に応じた必要な手立てを一緒に考え、あきらめないチャレンジ精神と創造力をもって総合的にサポートしていきます。

今後ともよろしくお願いたします。

医務部



昨年度より、感染の認定看護師から感染対策を学び、即活用出来るよう様々な意見交換をしているところに、今年に入ってから新型コロナウイルスのパンデミック騒ぎでオリンピックが延期される程の大変な世の中になりました。

苑での感染を未然に防止するにはどうすれば良いのか、もし発生したらどのように対応し最小に封じ込めることが出来るのか等、戦々恐々とした毎日です。

どうか平穏な令和2年度でありますように。

家族の広場

「感謝」

生まれてすぐにダウン症の診断がされ、暗中模索の子育てが始まりました。親の会へ参加し色々な話を聞き、幼児教室で様々なプログラムを受けました。小さい頃は体が弱く心配しましたが、小学校の登下校で4km歩くことで徐々に丈夫になり、剣道教室で寒稽古を頑張りました。中学高校では、和太鼓やサッカー、市民マラソン、漢字検定などたくさんの方にチャレンジ出来たと思います。友達と街へ遊びに出かけることを楽しみにしたり、淡い初恋も経験しました。ゆっくりでも子供は確実に成長するものですね。この31年間の雅士なりの進歩に何度も励まされ今日まで来ました。



（はるかぜの丘利用者 宮崎 環
宮崎雅士の母）

セーナー苑にお世話になってこの5月で丸二年になります。皆さんに温かく受け入れていただき穏やかに過ごしております。至らないことも多いと思いますが、これからも親子共々よろしくお願ひします。

「三人はいつも一緒」



私の従兄弟の邦和と豊は、叔母が四十数年前に亡くなり、北陸で一番大きなセーナー苑なら、二人が一緒に入所出来るという事で、東京から

お世話になる事になりました。初めは若竹寮という所で、部屋は畳で夜は布団を敷いて寝るという下宿屋？の様な雰囲気でした。親も子ども達も若かったせいも、親子旅行は東京や長野とか、かなり遠くにも出かけました。帰省の折には、飛行機に乗せて、私の家にも連れて来た事があります。

父親も十年程前に亡くなり、現在は富山近くに二泊し、三人でレンタカーで食事や買物をし、楽しい時間を過ごします。足が弱くなってきた二人を、いつも両脇に抱えて歩きます。来苑日は毎月行っておりませんが、これからも二人の従兄弟たちの為に、元気で頑張りたいと思います。いつもお心遣いを頂いている苑長、職員の方に心から感謝申し上げます。

（ほへみの丘利用者 中尾邦和・中尾 豊のいとこ）
西川 悦子

「セーナー苑に入所して」

昭和45年に入所してから、平成、令和と変わり50年、色々ありました。7歳で始まった親子別々の生活。何度も隠れて見、又色んな用事をつけ家につれて帰っていました。あまりの数の多さに、子供のために良くないと注意された事もあります。平成2年に主人が他界、平成28年には英子が八尾総合病院へ入院。何事も初めてのことばかり、今考えるところです。苑の職員の方々に助けてもらい感謝しています。



（のぞみの丘利用者 齊藤英子の母）
齊藤 光枝

今英子は57歳。月一回帰省しています。好きなコーヒー、ラーメン、菓子を食ベカセットで音楽を聴きテレビを観て喜んでいきます。又、職員の方の名前、バスハイキングに行つて食べた天ぷら、刺身、コーヒー、ケーキ、おいしいかつた事をきかせてくれます。帰る朝、職員の方の名前を言いながら着替えして喜んで家を出ます。これから色々とお世話をかけると思っています。宜しくお願いいたします。

「萌黄に登所して」



セーナー苑にお世話になったのは小学六年生の時でした。中学部を卒業し、成人式もお祝いしてもらいました。両親が定年退職し、萌黄に登所する決断をしました。自己紹介で「常川泰弘です」とはつきり答えたのは今でも鮮明に覚えています。家では童謡を聴いたり、テレビを観たり、ペットボトルのふたを集め色別に分けているのはびびくりします。

朝目が覚めると「今日苑は。」と、さつさと車に乗り、にこにこ会話もしてくれれます。萌黄ではイスに座りお友達を見て機嫌の良い時は笑って楽しそうにしています。これから先もあせらず、泰弘のペースとそその日の状態を見ながら登所を頑張つて行きたいと思つています。職員の方には大変お世話になり感謝しています。これからも引き続き御支援よろしくお願ひします。

（萌黄利用者 常川泰弘の母）
常川 節子

行事アラカルト



新年会はみんなでお参りました。



保護者さんと一緒に体操をしたり、鬼退治ゲームをしました。



美味しそうなプリンと一緒にピース



この曲を石田さんに捧げます！
聴いてください!!



山下さん(前のぞみの丘施設長)



みんなで雛段飾りを作りました～！



アラカルト



谷さん（前ほほえみの丘施設長）との記念撮影。



期末の集いにて、コーヒーとプリンを
おいしくいただきました。



期末の集いにて、体力作りの表彰式を行いました。



満開の桜の下を散歩
(4月8日)



花見をしながら散歩に出かけました。



かえで通り名物♪中庭でおやつ

行事



観桜会



きれいだねえ。



桜の木の下でニコリ



タンポポも咲いているよ。



晴れた日のお花見。満開!!



桜を見ながらのおやつタイム。



晴れ間をみてお花見をしました。



散歩日和! 花見日和! 外に繰り出そう!!